

海洋教育パイオニアスクールプログラム(PSP)

2025年までに全ての市町村で海洋教育の実践を目指し、「海洋と人類の共生」の公教育化を見据えた学校支援プログラム

2022年12月時点 1,922区・市町村中 PSP参加は225区・市町村

(1,724市町村、23特別区、175区)

地域展開

10地域(北海道・洋野町・気仙沼市・岐阜市・阪南市・新居
浜市・太宰田市・与論町・糸満市・竹富町)

- ・海洋教育の「特例校」 8地域で33校 (全国では38校)
- ・地域特性に沿った実践を収録した副読本の作成、配布、授業での活用
- ・Ocean Literacyをベースとした地域版海洋リテラシーの導入



単元開発

- ・学校独自の海洋教育カリキュラムの作成
- ・異なる地域の学校間、異校種間の連携

知識・技能

思考力・判断力・表現力

学びに向かう力、人間性等

どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか

教科・分野横断の幅広い取組み

- 自然環境(海、山・森・川との繋がり、生物)
- 水産、観光、造船、港湾
- 海岸清掃、海洋プラスチック
- 防災(津波・高潮)、安全(水難事故防止)
- 地域の海に係る文化(祭事・郷土料理等)
- 地球温暖化、海洋酸性化
- SDGs・ESD、世界遺産



地域住民・NPO・研究機関・大学・官庁関係機関の協力連携が重要 →詳細

